

令和4年度事業報告

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構

事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

【令和4年度事業総括】

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてから3年が経過し、未だに収束の見通しが立たない中で感染拡大防止と社会経済活動の両立をどう図るのが課題となっている。国、地方自治体と地域の医療機関が連携してワクチン接種が迅速に行われ、致死率や重症化率が以前より低下したことから、国の感染対策方針も大きく変わった。そうした状況のなかで、国内外の観光客が少しずつ動き出し、観光客の拡大と観光消費による経済効果が期待される状況になってきた。また、国は全国旅行支事業等を展開し、観光事業者支援と国内経済の活性化に取り組んできた。しかし、地域の観光産業のおかれた状態はまだまだ厳しく、今後も観光産業と経済活性化に向けた継続支援が期待される。

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を注視しながら、町内の多様な観光資源の魅力を最大限に活用した観光事業を積極的に推進した。さらに、矢掛町の観光の核となる矢掛商店街を中心とした「まるごと道の駅」への誘客促進と町内の多様な魅力についての情報発信を実施した。

公益事業として、まるごと道の駅活性化事業では、矢掛商店街への誘客と来訪者を安定的に確保するため、すでに多くの来訪者がある矢掛町総合運動公園から矢掛商店街へのスタンプラリーを実施し、誘客について検証した。また、道の駅開業から開催している「やかげ華まつり」と矢掛まるごと道の駅イベントを同時開催し、約7,000名を誘客した。さらに、矢掛の町並みの雰囲気合う和菓子をテーマとした「和菓子マルシェ」を開催し、約3,000名を誘客した。

まるごと商店街賑わいづくり創出事業では、矢掛町の最大イベントといえる「矢掛の宿場まつり大名行列」と連携して、体験型コンテンツとしてインバウンドを対象とした大名行列への参加モニターを実施した。さらに、テレビ局と連携し、町内外への情報発信としてイベント当日だけでなく、一定期間周知しながら継続的に情報発信を行った。

古民家再生した矢掛ビジターセンター問屋における賑わい創出事業では、矢掛町のイメージ戦略として「クリームソーダ」を素材に若者等の集客を目的としたキャンペーンを企画し、飲食店14店舗と協働で、令和5年度の実施に向け準備作業を行った。また、来訪者のニーズや動向データを収集するため町内3施設で合計2,317件のアンケート調査とデータ分析を行った。さらに、若者の意見を取り入れた観光コンテンツの開発のため、大学と連携してインターンを受け入れながら、学生がインターンを通じて体験した矢掛の魅力や観光コンテンツについての意見収集を行った。観光情報の発信についてはラジオを毎月2本、テレビ3番組とCM30本、新聞広告と折込等を積極的に行った。さらに、SNSを活用し、日常的な情報発信も行った。誘客促進事業としてプロモーション活動のためのインバウンド向け観光パンフレットを作成した。また、昨年を引き続き旅行会社向けのツアー助成についても実施した。

矢掛町ランドオペレーター事業では、インバウンドモニターツアーを実施し新たなコンテンツの発掘や磨き上げを行い、観光メニューの拡充を図った。矢掛町への観光を希望するお客様や旅行会社へ滞在プランの提案や相談に対応し、町並案内人の予約等のオペレーションやガイドの育成を行った。また、矢掛町を訪れた観光客に矢掛の楽しみ方、矢掛の観光の歩き方を伝えるため、矢掛町内の観光施設や見どころを掲載したパンフレットを作成した。

さらに、広域での観光連携を推進するため井笠管内を中心とした近隣観光団体と意見交換の

場を設けた。

そして、新型コロナウイルス対策事業として、観光関連事業者等への支援事業を実施するとともに、矢掛町民の方々にも矢掛町の魅力を認知していただけるような町内を周遊するツアー等を企画実施した。マイクロツーリズム実施事業では、町内の観光施設や体験コンテンツなどを組み込んだツアーを企画実施し、町内外から多数のお客様に利用していただき、矢掛町の魅力を体験していただいた。また、町内飲食店応援プレミアム付飲食券発行事業では飲食店で使用可能なプレミアム付飲食券を発行し、消費喚起を行い、飲食店の支援を行った。旅行会社活用による誘客促進事業では、旅行会社向け補助金事業の拡充を行い、矢掛町内の有料施設利用又は飲食等をツアーに盛り込み、矢掛町への送客を行う観光事業者を対象に支援を行った。抽選会による周遊促進事業では、町内の参画店で一定金額以上のお会計につき抽選券を配布し、抽選会を実施し、同時に矢掛商店街の来訪者の周遊を促進させるためにスタンプラリーを実施した。矢掛の魅力再発見事業では、町内の宿泊施設、観光施設や体験コンテンツなどを町内在住者に利用していただき、矢掛町の魅力を再発見してもらうツアーを企画実施した。

収益事業としては、矢掛ビジターセンター問屋の指定管理を受託し、施設の維持管理を行いながら道の駅山陽道やかげ宿と連携した情報発信や観光客を商店街や町内の観光スポットへ誘客した。また、町並ガイド育成事業として、観光ボランティアへの参加募集と育成を行った。

アルベルゴ・ディフーズ（分散型ホテル）や古民家再生事業、まるごと道の駅や重伝建選定による観光の取組状況等についての視察受入を行った。

さらに、矢掛町内の産業の現状を把握する産業連関表を作成するため、町内企業及び事業者へのアンケート調査及び町民を対象とした消費調査及び矢掛町観光振興ビジョンに基づくアクションプラン案の作成を行った。

岡山県のA I R事業と連携して、アートイベントとして石彫作家9名を招聘し、「ザ・のみぎりズム2022」を開催し、矢掛商店街への集客とイベント告知等による情報発信を行った。

【重点業績評価指標（K P I）】

K P I		2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績
延べ宿泊者数（人）		6,629	6,869	6,184	5,982
観光入込客数（人）		296,656	334,498	275,645	524,024
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,157	2,356	2,436	2,366
	宿泊 観光客	19,794	17,922	20,273	18,951
リピーター率（%）		56.95	64.70	70.95	68.67
観光客満足度（%）		77.25	84.00	86.16	86.63
WEBサイト アクセス件数（件）		161,138	167,292	150,332	160,029

K P I		2022年度 目標	2022年度 実績（速報値）	備考
延べ宿泊者数（人）		6,692	7,561	
観光入込客数（人）		346,979	609,639	
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,861	2,744	
	宿泊 観光客	21,782	17,777	
リピーター率（%）		65.32	69.25	
観光客満足度（%）		93.88	90.05	
WEBサイト アクセス件数（件）		195,861	159,374	

※延べ宿泊者数＝矢掛屋宿泊者数+備中屋宿泊者数+蔵 INN-KAMON+蔵 INN-KURABI-

※観光入込客数＝岡山県報告数値（暦年）

※観光消費額＝アンケート調査から算出した額

※リピーター率＝アンケート調査から算出した数値

※観光客満足度＝アンケート調査から算出した数値

※WEBサイトアクセス件数＝矢掛町観光ホームページアクセス件数

■公益事業

1. まるごと道の駅活性化事業

(1) 運動公園周遊促進

町内外から多くの来訪者がある矢掛町総合運動公園から矢掛商店街への誘客の検証を行うため、芝滑りを行った子供にスタンプラリーの台紙を配布し、矢掛商店街においてスタンプラリーを企画実施した。さらに、来訪者の動向をつかむ目的でスタンプラリー実施者へのヒアリング調査を実施した。

【実施期間】 令和5年3月10日～3月31日

【台紙配布数】 1, 336枚

【矢掛商店街来訪者】 145組



(2) やかげまるごと道の駅イベント事業

道の駅への誘客及び商店街の周遊を促進するため、やかげまるごと道の駅イベントをやかげ華まつりと連動させて実施した。イベント内容としては、矢掛町内で活動している「jam t u n」によるアフリカの布を使って花を作るワークショップや子供向けの催しを開催し多くの来場者を集めた。さらに、矢掛町出身のフィギュアスケート選手 三宅星南氏に協力いただき、写真撮影会を開催するなど県外からの集客と情報発信を行った。

【実施日】 令和5年3月26日

【来場者数】 約4, 000名



(3) やかげ華まつり事業

矢掛町の春のイベントとして町民や観光関係団体等と連携し、花の作品展示や日曜朝市、ステージイベントなどを一体的に開催することで、矢掛商店街への誘客を行った。花の作品展示には華道団体、フラワーアレンジ教室や地域住民のグループ13団体に参加いただき、矢掛商店街13カ所で作品展示を行った。また、ステージ会場では町内及び近隣から踊りやダンスなどの団体に演技を披露いただき会場を盛り上げていただいた。商店街全体の周遊を促進するため別会場(元町)では備中神楽の演舞や矢掛商店街を周遊するスタンプラリーも行った。

【実施日】 令和5年3月26日

【来場者数】 約7,000人



【スタンプラリー参加人数】 607名

【アプリ情報発信実施期間】 令和4年10月31日～11月13日

【アプリ閲覧数】 61万PV

【アプリキャンペーン参加数】 193,294回



3. 古民家再生した矢掛ビジターセンター問屋における賑わい創出事業

(1) 特産品の開発 (ブランディング)

矢掛町の飲食店と連携し、「クリームソーダ」を使った矢掛町のイメージ戦略として若者の集客についての検証を企画し、参画店舗の調整及びイメージ戦略の準備のための写真素材の撮影や情報発信用HP等の作成や店舗への商品開発のアドバイスを行った。

【参加店舗数】 14店舗



(2) マーケティング事業

①観光アンケートの実施及び分析

矢掛町を訪れる観光客及び観光事業者等に継続してアンケート調査を行い、観光ニーズを分析した。水車の里、やかげ町家交流館、道の駅山陽道やかげ宿にてアンケートを実施し、アンケート回答者への割引補助を実施した。

また、イベント来場者に対しヒアリング調査を行い、消費額等のアンケート調査及び分析を実施した。

【アンケート実施期間】 令和4年9月～令和5年3月

【アンケート件数】 2, 317件

【ヒアリング調査実施日】 令和5年3月26日

【ヒアリング件数】 197件

(3) 観光コンテンツ拡充・情報発信・誘客促進事業

①観光資源魅力化事業

大学と連携してインターンシップとして学生等の受け入れ体制をモニター検証した。同時に施設運営を体感しながら町内の観光施設等の実態の意見を聞き、観光コンテンツ等の開発検討を行った。

②観光情報発信事業

・観光ホームページ、SNS、アプリ等による情報発信

ホームページ等を活用し、矢掛町における観光情報を発信した。また、プラチナマップやSNS (Facebook, Instagram, Twitter 等) を活用し、情報発信を行った。

・テレビ・ラジオ等による情報発信

観光情報等についてメディアを通じて発信を行った。実施内容は次のとおり。

会社名等	区分	番組名称等	内容	放送時期等
山陽放送 (RSK)	AM ラジオ	あもーれ!マッターノ	矢掛町の旬な話題	毎月1回(全12回) 第4木曜16時頃～
岡山シティエフエム (レディオモモ)	FM ラジオ	朝刊ラジオ 元気!おかやま (おはよう矢掛通信)	矢掛町の旬な話題	毎月1回(全12回) 第2火曜8時頃～
山陽放送 (RSK)	テレビ	ライブ5時いまドキッ	桃源郷はなしの里の紹介	令和5年3月6日 16時50分～17時50分
岡山放送 (OHK)	テレビ	なんしょん?	矢掛町内の店舗の紹介	令和5年3月6日 16時15分～16時50分
テレビせとうち (TSC)	テレビ	ピリッとサタデー	水車の里フルーツトピア の紹介	令和5年3月11日 11時00分～11時30分
テレビせとうち (TSC)	テレビ	CM作成・放送(30本)	矢掛の宿場まつり 大名行列PR	令和5年11月1日 ～11月12日

あさひ印刷	新聞折込	山陽新聞新聞折込（近隣市町）	矢掛の宿場まつり大名行列 PR	令和5年11月6日
山陽新聞社	新聞広告	山陽新聞広告	やかげ華まつり 情報発信	令和5年3月22日
朝日新聞社	新聞広告	朝日新聞備後版広告	井原線沿線情報	令和4年10月25日

③誘客促進事業

- ・旅行企画・誘致

近隣市町で開催される観光PRイベント等に参加し、町内の観光情報を中心に矢掛町のプロモーションを実施した。さらに、観光関連セミナー等での事例発表やパネリストとして参加し、矢掛町の魅力発信に努めた。

- ・旅行会社向けツアー助成

旅行会社による誘客促進のためのツアー助成金の制度を運用実施した。

【交付件数】 145件

(4) 矢掛町ランドオペレーター事業

矢掛町への観光を希望するお客様や旅行会社へ滞在プランの提案や相談に対応し、来町の際には実際にオペレーターとしてガイドも行った。インバウンド向けに新たなコンテンツの発掘や磨き上げを行い観光メニューの拡充を図った。国内旅行社向けには町並案内人の予約等のオペレーションを行った。

①インバウンド推進事業

新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、国内在住の外国人や大学等と連携したモニターツアーを企画実施し、外国人の受入体制の整備、外国人向け観光コンテンツのブラッシュアップ、観光プロモーション活動を実施した。



②観光パンフレット作成事業

矢掛町を訪れた観光客に矢掛の楽しみ方、矢掛の観光の歩き方を伝えるため、矢掛町内の観光施設や見どころを掲載したパンフレットを作成した。

【発行部数】 23,000部

③観光案内事業

観光客等のおもてなしとして活動している観光ボランティアの会の事務局運営を行い、ガイドの予約等のオペレーションを行った。

(5) 広域連携事業

井笠管内を中心とした近隣観光連携を推進し、観光客の管内への長期滞在を図るため、意見交換の場を設けた。

4. 新型コロナウイルス対策事業

(1) マイクロツーリズム実施事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光事業者を支援するとともに、町内の観光施設や体験コンテンツなどを組み込んだツアーを企画実施し、多数のお客様に利用していただき、矢掛町の魅力を体験していただいた。

【ツアー実施期間】令和4年2月22日～令和5年1月31日

【参加人数】368人（幼児含む）

【企画ツアー数】13ツアー

(2) 町内飲食店応援プレミアム付飲食券発行事業

飲食店で使用可能なプレミアム付飲食券（プレミアム率50%）を発行し、消費喚起を行い、飲食店の支援を行った。3,000円分を1セットとし、1セット2,000円で販売し、1日につき1人5セットまでを上限として販売した。

【発行枚数】12,600枚（2,100セット）

【販売期間】令和4年5月7日～5月16日 ※完売

【使用期限】令和4年11月30日



(3) 旅行会社活用による誘客促進事業

旅行会社向け補助金事業の拡充を行い、矢掛町内の有料施設利用又は飲食等をツアーに盛り込み、矢掛町への送客を行う観光事業者を対象に支援を行った。

【交付件数】131件

(4) 抽選会による周遊促進事業

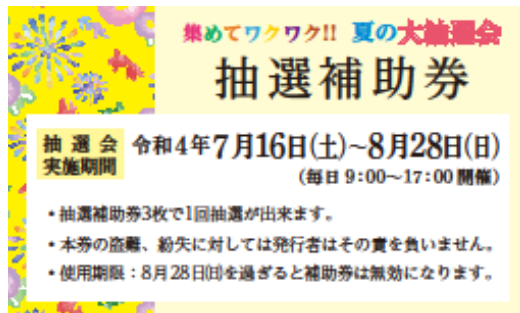
新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内の飲食・物販店への周遊促進を行うため、一定金額

以上のお会計につき抽選券を配布し、抽選会を実施した。同時に矢掛商店街の来訪者の周遊を促進させるためにスタンプラリーを実施した。

【実施期間】 令和4年7月16日～8月28日

【参加店舗数】 48店舗

【抽選回数】 29, 124回



(5) 矢掛の魅力再発見事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光事業者を支援するとともに、町内の宿泊施設、観光施設や体験コンテンツなどを町内在住者に利用していただき、矢掛町の魅力を再発見してもらうツアーを企画実施した。

【ツアー実施期間】 令和4年2月22日～令和5年1月31日

【参加人数】 114人 (幼児含む)

【企画ツアー数】 12ツアー

■収益事業

1. 矢掛ビジターセンター管理・活用事業

矢掛ビジターセンター問屋の指定管理を受託し、施設の維持管理を行うと共に道の駅と連携した情報発信や観光客を商店街へ誘客した。

【令和4年度年度来場者数】43,176人

2. 視察受入事業

アルベルゴ・ディフーズや古民家再生事業にまるごと道の駅や重伝建選定による観光の取組への視察受入対応を行った。

【有料視察受入：7件】



3. その他事業

(1) 町並み観光ガイド育成事業

観光ガイドの人材確保・育成等を目的としたガイドの募集を行った。

【実施日】令和4年12月4日・10日

【応募件数】5名（うち加入2名）



(2) 魅力的な観光地としての町づくり地域創生事業

矢掛町内の産業の現状を把握する産業連関表を作成するため、町内企業及び事業者へのアンケート調査及び町民を対象とした消費調査を行った。さらに、矢掛町観光振興ビジョンに基づくアクションプラン案の作成を行った。

さらに、石彫作家9名の参加をいただきアートイベント「ザ・のみぎりズム2022」を開催

し、矢掛商店街への集客とイベント告知等による情報発信を行った。

【実施期間】令和4年8月27日～令和4年9月8日

【公開制作来場者】1,635人

【のみぎり体験者数】123人

【小作品展示来場者】704人

【完成作品展示来場者】2,061人

【スタンプラリー応募者】252人

